

# 台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2010年11月号 月刊 東京発行 NO.145

発行先:(有)台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-31-5 TEL:03-3987-6379 FAX:03-3590-5798 http://www.taiwannews.jp e-mail:info@taiwannews.jp  
 ©郵便振替:00140-4-594168 ©みずほ銀行 池袋西口支店 普通1093569 口座名:有限会社台湾新聞社 定価¥300円(税込) 定期購読(12回) ¥3,000円(税込)

台湾新聞はtwitterを始めました  
 @taiwannp をtweet!

台湾新聞 検索

Web: http://taiwannews.jp/  
 E-Mail: info@taiwannews.jp

## 台北・松山空港 ↔ 東京・羽田空港定期便が就航 ~「プチ海外旅行」の時代が到来か~

2010年10月21日、東京の空の玄関口「羽田空港」が国際空港として新たな開港を迎え、31日には台北-東京線の定期便が、中華航空、エバー航空、日本航空、全日空、4社によって就航された。31日の早朝7時の中華航空便の出発前、同社の記念式典が羽田空港の112番乗口で行われた。式典はまず横浜中華学院の生徒による獅子舞から始まり、中華航空の社長・孫洪祥氏が挨拶。その後、台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表をはじめとした来賓の挨拶があり、全員そろってのテープカットが行われた。式典終了後、中華航空が募集し抽選で選ばれた「日帰りツアー」の乗客と、同行の報道陣が乗り込んだ最初の羽田-台北便が出発した。

この最初のツアーでは、早朝7時に東京羽田を出発する中華航空便に搭乗し台北に向い、18:15分に台北・松山空港発の羽田行き同社便で東京に帰ってくる。羽田空港への到着は夜9時55分。台北・松山空港へ着くのは9時45分。そして、再び東京に向かうのは午後6時15分。そのあいだ、故宮博物院を見学、お茶のセミナーに参加、足つばマッサージなど、短い時間の中でも盛りだくさんの「観光」が可能で、大変好評だった。

市内にいる時間は、前後の余裕を考慮して午前11時から16時半までの5時間あまり。さすがに旅行となるともう少し余裕が欲しい、という感じもあったが、機内



高雄-成田便で到着した首脳陣を迎えて

食などの楽しみもあることを考えると、一日を十分に楽しむことができる旅行だったと言えるだろう。新幹線や東京から京都に日帰り、という「プチ旅行」も、忙しいビジネスパーソンのおいでで流行ったことがあった。時間や交通費などを考えると、東京から京都への日帰り旅行とさほど変わらない時間とお金で、台北に遊びに行ける。「プチ海外旅行」というわけだ。台湾はこれまでよりもいっそう身近な存在として、私たちの目と胃袋を満たしてくれるだ

ろう。ひょっとすると、これから「台北一泊旅行」が流行るかもしれない。ちょうど11月6日からは、台北で「台北花博」が始まり、台北市内がさまざまな花で満たされ、世界から多くの観光客も訪れる。東京から台北への「プチ日帰り旅行」については、台湾観光協会東京事務所にさまざまな情報があるので、一度訪れて見るのも良いだろう。

中華航空に続きエバー航空(鄭光遠社長)も羽田-台北(松山空港)間の国際定期便を就航。11月6日から開催される2010年台北国際花博覧会のオフィシャルエアラインにちなみ「花博フライト便」として機内には40種以上の花博グッズがレイアウトされた。第一便は定刻の午前10時45分に台北に向け飛び立った。新規就航を祝してテープカットや祝辞などの記念式典も催された。台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表は祝辞の中で「1月から9月まで台湾からの観光客が昨年対比で26%増加した。交通アクセスの良い羽田松山間の定期便就航でさらに台日交流が盛んになることは嬉しい」とし「これで私の念願の二つ目が叶いました。もう一つは台北の故宮博物院の展示物の日本での展示実現です」と台日交流の更なる発展に自信を深めた。就航初便は満席。

このほか大江康弘参議院議員や東京都副知事の猪瀬直樹氏も搭乗し台北に降り立った。また、11時15分に到着した松山発の初便には都龍斌台北市長が羽田に降り立ち、式典に花を添えるとともに祝辞を述べた。記念式典は盛大のうちに幕を閉じた。

羽田松山間は毎日往復4便の運航(全日空との共同便の合計では8便)でプレミアムローレルクラスが24席。エコノミーは228席。エバー航空では12月22日まで航空

TOPIC	
日本語版	
●台北-羽田直行便が就航	1面
●各地で双十国慶節	4面
中国語版	
●日本橋訪謝美香獲得華冠獎	1面
●日本各地僑界慶祝雙十國慶	3面
僑界版特集	
祝羽田-松山空港間国際定期便就航記念号	

券やツアー商品のキャンペーンを展開する。また、同日、成田-高雄便の就航も始まり、こちらでも就航イベントが行われた(写真)。



エバー航空就航記念セレモニー



東京国際映画祭にピアニ・スーさん登場!(2面)

### 台湾物産館の御歳暮

<p><b>ポンカン</b> 約5kg(20~24玉) <b>3,500円</b> 約3kg(12~15玉) <b>2,700円</b></p>	<p><b>白柚(べいゆ)</b> 約2.5kg(2玉入) <b>3,000円</b></p>	<p><b>飲茶五点セット</b> ●特製肉まん 100g×5個 ●スび焼売 20g×15個 ●ポーク焼売 20g×15個 ●もち米肉団子 25g×15個 ●ポーク餃子 17g×15個</p> <p><b>天然からすみ</b> 約165g以上(1個) <b>4,800円</b></p>
--	---	---

表示金額は税込送料込です。

台湾物産館 笹塚本店 151-0073 東京都渋谷区笹塚2-14-15 TEL&FAX: 03-5034-7801  
 台湾物産館 お台場店 135-0091 東京都港区お台場2-2-1 TEL: 03-3527-8861 FAX: 03-3527-8862  
 台湾物産館本部 170-0013 東京都豊島区東池袋3-15-7 TEL: 03-3988-3321 FAX: 03-3985-8173  
 URL: http://taiwan-bussankan.com YAHOO! ショップ: http://store.yahoo.co.jp/taiwan-bussankan

### KAVALAN Single Malt Whisky

台湾から初の本格モルトウイスキー

各界絶賛!

イギリスのタイムズ紙によって行われたブラインドテストでは金賞受賞

2010 SWSC 銀賞受賞 IWSC 銀賞受賞  
 2010 SWSC 銀賞受賞 IWSC 銀賞受賞

お問い合せ先:  
 年中無休即日発送の国内専用  
 http://www.rakuten.co.jp/kawachi  
 E-Mail: kawachiya@good-wine.jp  
 TEL: 03-3869-3939

株式会社 網山株式会社  
 http://www.oyama-web.com  
 TEL: 0120-77-0529  
 FAX: 078-304-6087

製造元: 台湾 金車グループ  
 http://www.kavalanwhisky.com

### ますます便利、充実のネットワーク

羽田-台北(松山)線 / 成田-高雄線、2010年10月31日同時就航!!

台湾へはますます便利になった  
 チャイナエアラインをご利用ください。

10月31日より羽田-台北(松山)線と成田-高雄線が同時就航。今までの成田-台北(高雄)線は1日便に比べ羽田-台北(松山)線は14便の増便就航。さらにコードシェア便を含めると東京から台北への合計便数47便、成田-高雄線は3便を拡大。東京から台湾へのネットワークは計 50 便と更に充実します。

オンライン割引を利用すると最大1万円お得。

詳しくはホームページへ http://www.china-airlines.co.jp/  
 チャイナ エアライン 検索

### 宅配利用で遠くからでも利用OK

パソコン処分したいんだけど...  
**無料** どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】  
 データの破壊サービス付  
 当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊付です。ご希望の方は、その場で破壊致します。

【その他高価買取します】  
 非鉄・スクラップ・廃プラ  
 エアコン・銅線・給湯器、他

なんでもご相談下さい

http://www.shinrikogyo.co.jp 信利工業(株)  
 (日本商工組合連合会 会長: 池平美香) 〒593-8312 大阪府堺市西区草部2009番地  
 tel 072-260-3688 fax 072-260-3677



# 江丙坤董事長を迎えて:交流協会セミナー「ECFAと今後の兩岸及び日台経済関係」

10月18日、財団法人交流協会主催の「ECFAと今後の兩岸及び日台経済関係」セミナーが開かれ、ECFA締結の台湾側の代表である財団法人海峡交流基金会の江丙坤董事長(会長)が講演した。



江董事長はECFAにより変化した兩岸関係とアジアの経済について講演した。また、円高などの近々の状況の変化なども考慮した話にしたい、と、最初に挨拶した。江董事長は台湾の政治事情から話を始めた。また、現在の台湾の経済について、その歴史を述べ日本への輸出・加工貿易が台湾の経済に大きな影響を過去に与えたことを解説。毎月とっている意識調査では、台湾に住むほとんどの人たちが、「現状維持」を望んでいる、ということが、台湾の台湾における兩岸の政治状況を支えているとのこと。



現在、政治状況はどうあれ、現実的に考えて、中国は台湾の強力な経済パートナーとなっている。すでに中国から台湾に渡航する中国人の数は非常に多い。ただし、このような状況下では「1つの中国」という政治問題をどう解決するか、ということが大きな問題として浮上している。現在は、「一中各表」コンセンサスが兩岸で確立(92年コンセンサス)している。つまり、「兩岸は対等」という原則をそれぞれが守り、統一と独立は棚上げし、現状維持を続けること、との合意がある。

ハーベスト」項目として、徐々に関税撤廃を行っていく。特に、果物、魚、など台湾として守りたい産業については、これらの項目に加えている。また、医療サービス、映画などサービス産業などでは人件費の問題などもあるので、アーリーハーベスト項目に入っているという。これらの項目は非常に詳細に項目とこれからのタイムテーブルが決められており、実際に交渉を行った江氏らの苦労が伺える。

江氏の講演で感じたのは記者だけではない。いま、円高で苦しんでいる日本。「日本の技術」「日本の投資」「日本の経済政策」が期待されている。

講演のあとは質疑応答の時間となった。最初に質問に立ったのは、日本中華総会の会長、劉東光氏。APECでこれらの日本への提案を討議したらよいのでは?などの質問があった。これに答えて、江氏は「APECはたくさんの国が集まっているので、なかなか二国間の話などができない」と語った。

現在、台湾では中国との貿易は全体の貿易額の40%を超える比率となっており、台湾としても中国との経済関係は非常に重要なものとなっていることが語られた。とは言うものの、台湾の過去の経済においては、日本から部品を買って、欧米へ輸出する、という産業構造ができあがっており、今日でもその形態が大きく生きています。

また、政治的な個々の問題としては、「年号」の問題がある。現在では兩岸の契約などの文書で年号を書くときは、年号の部分は白紙となっており、各自でそれを書き加えるようになっているとのこと。(この話が語られたときは、会場から笑いが漏れた)。ECFAでは、兩岸でリアルタイムに起きるさまざまな問題を包含しながら、たとえば食品の安全についての協定などを含むなどしつつ、現実的で素早い対応をしていることも特徴だ。ECFA成立後、中国から台湾への観光目的の渡航者が非常に増え、今年は120万人以上の中国からの観光客を見込むという。この中では行政が行う観光が非常に多い。そのため、台湾

でもホテルの改修、新築等の経済効果も上がっており、その総投資額は今年おおよそ540億台湾元となり、非常に大きな経済効果があがっている。航空便はじめ、多くの兩岸の交通がスムーズになっており、この面での経済効果も大きなものとなっている。これらの協定の中には「知財協定」も含まれ、台湾で権利取得した知財は、中国で優先的に扱われる、ということが決められた。これは日本企業にとっても、安心して台湾経由での中国投資を行える、ということであると理解できる。

ECFAは製品貿易協定、サービス貿易協定、投資協定、経済協力、と4つの分野にわかれており、前者から後者に向かってだんだんと締結が行われていく。最終的な協定は「経済協力-投資」となる。この投資の保護メカニズムなどの交渉を現在行っている。現在でもいろいろな問題が発生しており、早急な対応が望まれる。こうしたさまざまな条件、環境のもと、様々な必然性を考慮し兩岸の関係をより緊密にするために締結された ECFA は、台湾に「経済孤立化の回避」「ビジネスチャンスや雇用機会の創出」「アジア経済全体への良い影響」を台湾本国や周辺国に与えた、と江氏は語った。この観点からすると、これからの日台関係は、日台 FTA の締結からはじまり、日本の持つ技術を台湾への投資によってアジア経済にいかにか活かしていくか、ということ、言い換えれば「日台ビジネスアライアンス」がアジア経済のみならず、世界経済に良い影響を与える、と江氏は考えているとのこと。

また、日本経済新聞の記者で台北に駐在していた方の質問などに対し、「台湾の企業のことを第一に考えて慎重にやっている」とのお答えがあった。また、台湾内での法人税の減税による税収不足などの危惧はないか?という質問もあったが、江氏は「投資が増える、雇用機会が増える」ことによって、その分はカバーできるか、あるいはそれ以上の効果を上げられる、という見解を示した。実際、現状の台湾の経済成長はそれに支えられている、という。

質問全般からすると、やはり日本企業としては、日本の円高による産業の空洞化についてかなりナーバスになっていることが感じられた。江氏によれば、台湾でも過去に産業空洞化が起こり、金融政策、減税などの政策努力により、特にIT産業を中心として空洞化を防いできたとのこと。しかしながら、これからは環境、医療(メディカルツーリズム)、バイオ、などいくつかの新分野を開拓する政策を推進中とのことだ。新たなアジアの時代は、中国というマーケットをベースに、日本と台湾が活躍する場となることを願う。

つまり、日本はECFAの締結によって「アジアとの付き合いをどうするのか」という問題を真剣に突きつけられているとも言える。ECFAにより始まった新たなアジアの時代、という認識を、より多くの日本の企業や政府機関が持つ必要があることを、

## 世界華人工商婦女企管協会総会・「華冠獎」授賞式



10月2日、台北の圓山大飯店において、世界華人工商婦女企管協会総会が行われた。この会は世界の華僑の女性実業家が集まる会。毎年台北で開催される総会では、世界中から一千二百名を超える女性実業家が集まり、優れた経営をした女性を選び表彰「世界

十大傑出華商婦女」として「華冠獎」として表彰する。昨年に続き、今年も日本からは信利工業(株)の池平美香(謝美香)さんがその一人に選出された。また、今回の表彰式には中華民国・副総統の蕭万長氏が表彰の任に当たった。



日本分会会長 鄭玉蘭さん(中央)



世界十大傑出華商婦女の一人に選ばれた謝美香さん

## ビビアン・スーさんも登場! 台湾の夜酒会 「~台湾電影ルネッサンス2010-美麗新時代~」



2010年10月24日、東京国際国際映画祭で上映される台湾映画の出演者や来日したクリエイター、関係者などが一同に会した「臺灣之夜酒會 TAIWAN CINEMA PARTY ~台湾電影ルネッサンス2010-美麗新時代~」が、東京のホテルオークラで開かれた。ビビアン・スーさん、チャン・チュンニンさんもこのパーティに訪れ、台湾映画をアピールしていた。台湾のTVBSの報道によると、中国側の団長である江平氏が台湾側に「兩岸の中国映画」として台湾映画を「中国映画」の一部として受け入れるよう求め「台湾」の表記をオリンピックなどのときの表記と同じ「中国



台北/Chinese Taipei」に変更するよう意見したとのこと。これに対して台湾側団長の陳志寬・行政院新聞局映画処長は「文化事業を政治とからめないでほしい」と言い、議論になったため、前日の「グリーン・カーペット」のセレモニーに台湾スタッフは出演していなかった。本パーティには、台北中日経済文化代表処の馮寄台代表(大使)、そして前日中国との交渉に立った行政院新聞局電影事業処長・陳志寬氏も訪れ、華やかなパーティとなった。

## 台湾の高級ウイスキー「KAVALAN」のふるさと

### ■台湾の高級ウイスキーブランド「KAVALAN」

台湾の高級ウイスキーブランド「KAVALAN」の工場は、宜蘭にある。美しい海で有名な場所だが、この工場は少し内陸部側にあり、山が目前に迫っている。缶コーヒーのブランド「Mr.BROWN」を作っている金車がこの工場を作った。工場の一部に、一般に開放された見学エリアがあり、さらにその隣のビルには、売店、ウイスキーやコーヒーが飲める簡単なレストランなどがあり、子供連れが楽しめるようになっている。内部では実際に稼働している工場を見学できるばかりではなく、ウイスキーの製造工程なども学べるパネルも展示してあり、大変に興味深い。



工場の内部



熟成に使われる樽

株式会社は、神戸に本社を置く輸入商社だ。雄山はジュースや食品を中心に電子機器に至るまであらゆる製品を輸入して、国内の販社などに卸している。

さらに、その製品のサポートのために、製品の知識をしっかりと持った社員を抱え、研究所も自社で用意。日本国内の客先から見れば、輸入商社であるのに、まるでメーカーかと思えるほどの体制を持っている。そのため、製品のクレームなどは非常に少ない、という。また、必要があればパッケージ形態を変更するなどの簡単な加工

### ■KAVALANの総輸入元「雄山」

この台湾のウイスキー「KAVALAN」を日本に持ってきた総輸入元:「雄山(おやま)

も行うという。このあたりへの投資を惜しまない、というところがこの会社の他の会社にはない特徴であり、多くの顧客に信頼を得ているところとも言えそうだ。

また、国内製品の販売のお手伝いなど、本業と関係の無い仕事は一切引き受けない、とのこと。そのため、本業に専念でき、製品の質の高さを保証することができるようになる、という。扱う製品は素材の本質が活かされた「自然のもの」に近いこと

を条件としている。また、加藤会長によれば「KAVALAN」は非常に質が高い「おいしい」ウイスキーで、それを扱えるのは大変に良い仕事であると思っているとのこと、これから日本国内でたくさんのファンを作っていきたい、とのことだ。伝統を大切に台湾のウイスキー「KAVALAN」。そして、革新的で丁寧な仕事を重んじる「雄山」。この素晴らしい企業どうしのコンビによって、台湾の「おいしいウイスキー」が日本で飲めるのも、もうすぐだ。



KAVALANの工場の外観



KAVALANの日本での総輸入元「雄山」

※今月は雙十節特集などのため「中華民国建国100周年記念お祝い特集」は、先月に続きお休みします。



# 台湾行政院、デジタルコンテンツ産業の育成に本腰

中国市場をにらんで、台湾行政院による「デジタルコンテンツ産業発展行動計画」がスタートした。同計画は、成長を続ける中国をはじめ東南アジアなどの新興国市場に対して、台湾にとって強みとなるゲーム、アニメ、デジタル映像などのデジタルコンテンツ分野の産業を育成・強化し、ビジネスを拡大することをねらったものだ。デジタルコンテンツ分野で台湾が、中国を中心とした「華人市場」に向けて有利な立場であることを最大限に活用した台湾の経済成長戦略といえるものだ。

実際、インターネット社会で中国語を言語とするユーザーは多く、アニメ、ゲームから電子図書などさまざまなデジタル分野の中国語コンテンツの需要は、中国経済に発展とともに膨張することが確実に見込まれる。このため、行政院は「デジタ

コンテンツ産業発展行動計画」で、4年後の2013年までに1000億元(約400億円)の投資を見込み、年間7800億元(約2兆2000万円)の売上規模の産業へ成長させるという。産業育成は基本的に、①ハードウェアとソフトウェアを統合した開発を後押しし、バリューチェーンの構築を図る、②中国との産業交流をはじめ国際的マーケティングを進める、③漫画、動画、ゲームといった多角的なデジタルコンテンツを開発、ジャンル間の共同作業や民間の協同プロジェクトを進める、④研究機関とデジタルコンテンツ業界の連携強化、人材

の育成—の方向を打ち出している。今後のゲームソフトは、コンピューターの機種や基本ソフトに関係なく遊べるのが不可欠だし、例えば映画の世界がゲームになったり、ゲームの世界が漫画になったり、さらには映画になったり、それぞれのデジタルコンテンツが結びつき、産業育成、市場拡大を図ろうというイメージだ。こうした台湾のソフト領域が成長すれば、当然、優れた能力を持つ台湾ハードウェア製造へも恩恵をもたらすことになる。計画が実現するかどうか、大きなカギを握るのは中国市場での成功だ。兩岸経済協力を通して、中国語のデジタルコンテンツ産業の共通基準、流通のプラットフォームを確立することや取引の管理と測定試験、認証のメカニズムを確立することを進



9月の東京ゲームショウにジョン・ウー監督を招き、映画連動したゲームを発表した台湾・ガマニア。中国市場との関係では、9月に「2010中国台湾デジタルコンテンツ産業協力及び交流会」が台湾で行われている。台湾側の財団法人資訊工業策進会、中国側

の中国電子情報産業発展研究院が主催した会議で、台湾・中国のゲームライセンス付与、アニメの協同開発の強化、台湾・中国の電子出版の共通フォーマットの推進などについて話し合い、デジタルコンテンツ分野でいくつかの台中協力が進みだしている。とりわけゲームやアニメといったデジタルコンテンツは台湾では「オタク」と言われ、軽視される傾向もあるが、物質の世界以上にバーチャルの世界で豊かさを実感したり、夢を叶えようとしていたりする動きが強まっているなかで、有望な産業分野になりつつある。中国市場も同様で「オタク」文化の先進地域と中国をはじめとする華人市場とをつなぐ位置を占める台湾にデジタルコンテンツによるビッグチャンスが訪れようとしている。

## 中国に日本のデザインを売り込む経産省

日本の経済産業省は、日本の選りすぐりのデザイナーを市場拡大が見込まれる中国・上海に派遣し、現地需要家とのビジネスマッチングを行う。日本も中国市場に向けて、ハードばかりでなくソフトの売り込みに懸命で、しかもデザイナーそのものを中国に売り込もうという。

この催しは、「Japan Design+」と称して12月9～12日に上海の「上海虹橋賓館」で行われる。デザインだけを売り込むのではなく、デザイナーそのものの海外進出を後押ししているのがこの事業の特徴で、選抜されたデザイナーが自らデザインした製品・作品を展示するとともに、個別の商談会、ステージのプレゼンテーションを通じて中国企業からの顧客獲得を目指す。

派遣されるデザイナーは20組。8月6日から一般公募を実施し、グラフィックデ

ザイナーの原研哉さんを委員長とする審査委員会が、応募があった108組に対して書類審査、面接審査を行い、選出した。デザイナーは30代の若手を中心にグラフィック、建築、インテリアなど幅広いジャンルに及ぶ。原委員長によると、実績と同時に「難しい状況の中でもしっかり骨太なビジネスデザインを遂行できる強靱なロジックと、何が何でも中国で仕事してみせようという意識の強さ」で選んだそうだ。

台湾がデジタルコンテンツ産業を育成しようとするのと同様に、日本はデザイナーの売り込みで勝負する。世界に取り残されないために、製造されたものの輸出だけではなく、それを生み出す人材の海外展開を支援して、海外のクリエイティブ需要を取り込むことを目指すという。その戦略が当たるかどうか、日本は産業育成の岐路に立たされている。

### 【桃園空港近くの宿】

## 台北・桃園空港近くのホテル「ノホテル」

台北の桃園空港近くに、台湾を代表する航空会社「中華航空」本社と、中華航空の経営になる近代的デザインで有名なホテル「ノホテル」がある。そして、その本社のビルの中には、中華航空の歴史を展示した「華航博物館」がある。博物館はまだ一般公開されていないが、小さなスペースながら中華航空の創業から今までの歴史がわかるようになっている。楽しくたくなる施設だ。

博物館の目の前には「ノホテル台北桃園国際空港」は東京にもある高級シティホテルだが、スマートなデザインの建物とそれにマッチした独自のデザインによる家具が特徴的な、未来志向のホテルだ。空港に近い環境ということもあり、深夜や早朝の発着便を使う場合などに非常に便利なホテルとして今後の利用客の増加が期待されている。

ノホテルの部屋数は360。台北中心部から少し離れている空港を利用するさい、非常に便利な位置にあるのが、このホテルの最大の特徴だ。深夜に台北に着く国際便の宿泊場所として、あるいは、早朝便のための前夜宿泊などに、気持ちの良い眠りと食事を提供してくれる。また、値段も手頃なことや、日本からだと、日本語での空き室情報確認、予約などがインターネットで簡単にできるのもうれしい。



ノホテルのロビーには斬新なデザインのインテリアがある

■ノホテル台北桃園国際空港  
1 Terminal South Road  
Taoyuan County  
Dayuan Township  
337 TAIPEI TAIWAN R.O.C.  
電話番号 (+886)3/3980888  
ファックス (+886)3/3980999  
E-Mail:H6701-RE@ACCOR.COM

### 【宜蘭の宿】

## 気取らない安らぎ。宜蘭の「冠翔四季」ホテル

宜蘭の礁溪にある「冠翔四季」は、台湾では温泉街で有名な礁溪の街の真ん中にある「温泉ホテル」だ。もともと、日本人にはあまり知られていない温泉街かもしれない。いま、台北から宜蘭は、新しいトンネルが開通したため、わずか1時間の距離だ。台北観光のついでに、宜蘭に行くことができる。

ホテルの施設である屋根つきの屋内SPAは、子供も大人も楽しめる広大な温泉施設だ。加えて、各部屋の清潔さと格調の高さ、それでいてどこか安らぐ、よく考えられた調度に囲まれた部屋が90以上。そして、各部屋を管理する客室係りは20名もあり、きめ細かなサービスが受けられる。

夜、街に出てみると、ネオンがまたたく中にも、庶民の生活感が漂う。日本人にとっては「懐かしい」温泉街だ。空き地に作られたテントでは屋外カラオケの真っ

## 宜蘭の「冠翔四季」ホテル

最中だったりする。

きめ細かなサービスと部屋の作り、そしてなによりも「清潔」はこのホテルでは徹底されている。この感覚が現代の日本人の宿泊先としても、このホテルを宿泊にふさわしいものになっている。食事はビュッフェ・レストランが主だが、その食事の内容も、土地独特のものを取り入れるだけではなく、台湾各地からの美味を集めたものになっていて、とても楽しめる。また、緊張感をほぐしてくれるすばらしい顧客対応は、このホテルの「隠れた特徴」だ。このホスピタリティやほっとする感覚がどこから来るのか、このホテルの「総経理(社長)」の、方翠華さん(女性)に聞いてみた。

方さんによれば、とにかく大切にしているのは、お客様に気持ちよく部屋にいらしていただくことだ、という。そのうえで、従業員にも気持ちよく仕事をしてもらう努力をして



ゆっくりと湯に浸りながら温泉街の夜景が楽しめる

いる、とのこと。どうりで、会う従業員の方々の笑顔が気持ちがいいわけだ。台北を訪れたら、宜蘭もコースに加えてみたらいかだろうか?特にこの「礁溪」温泉の懐かしい、しかし異国情緒の漂う夜は「台湾通」だったら、是非歩いてみたい。

### 【台北市内の宿】

台北での日本人の長期滞在に向けたビジネスホテル

## 「FORWARD HOTEL TAIPEI」

台北の中山区一江街にある「FORWARD HOTEL TAIPEI」は、日本人ビジネスマンも多く利用するビジネスホテルだ。台北には数多くのビジネスホテルがあるが、このFORWARDは清潔で気持ちの良い部屋がそろそろ。しかも価格は7千円台～1万円前半、とリーズナブル。このホテルはビジネスでの長期滞在者には絶好のホテル。外装を見るとサンフランシスコあたりの小さなホテルのような外観だが、中はちょっと粋なシティホテルのような作りで、日本人だけでなく、多くの国の旅行者にもファンが多いという。

長期滞在に向く理由は、まずビジネス街が近いこと。そして、宿泊客が無料で使える乾燥機つきのランドリーが用意されていること。そして、日本では半ば当たり前になった「シャワートイレ(日本製)」が全室についていること。また、日本語がわかるスタッフも常駐しているだけではなく、ホテルの朝食(バイキング形式)も、日本食のバリエーションが用意されていて、これがあるだけでいい。と



シャワートイレは日本製だ。

家具などは特注されたもので、デザインも非常に凝っている。凝っているが、落ち着いているところがいい。ビジネスで疲れてホテルに帰ってきたとき、飾らない、それでいて気持ちのいい白を基調とした内装や家具、ロビーやビジネスセンターにあるソファなどは、そのデザインが押し付けがましい主張をしないので、疲れを癒してくれる効果もあるかも知れない。

ところで、長期滞在者にとって、無料でランドリーが使える、というのはけっこうメ

リットとして大きいのは、旅行慣れしている人にはよくおわかりだろう。特に台北ではコインランドリーが土曜、日曜に閉まってしまふところも多いので、「休みの週末に洗濯をしよう」と思ってもできないことが多い。そんなとき、こういうサービスはとてもありがたい。

ランドリーは宿泊者は無料。週末も使える。また、ホテルへの交通アクセスは現在バスか、地下鉄駅から少々歩く、という場所だが、今年中にホテルの至近に地下鉄の「南京松山駅」の開業が予定されており、ホテルからの台北市内での移動も大幅に楽になる。また、地下鉄は今年10月31日に定期便が開通の「東京・羽田空港-台北・松山空港」便の台北での拠点「松山空港(従来は台湾の国内便が主に使用)」にも接続されているため、東京からのアクセスも非常に楽になる。

実際にこのホテルに泊まってみると、大きくて有名だが細かいホスピタリティが足りない、と感じるホテルが多い中、「FORWARD HOTEL TAIPEI」のそれはかなり質が高いと言える。高いホスピタリティが当たり前な感覚になっている日本人にも、このホテルはお勧めできるホテルだ。ビジネスでの長期・短期の滞在、大切な人とのくつろぎのひと時を満喫するホテルとしても、お勧めだ。

### 【溪頭の宿】

## 凍頂烏龍茶の故郷・溪頭の女性向けリゾート LE MIDI HOTEL(米堤大飯店)

台湾の新幹線・台湾高速鉄道の台中駅を降りて台湾中部の山の中にバスで向かうこと1時間。台北からでも3時間半の距離。そこには、観光地で名高い日月潭なども含む「南投県」がある。その南投県のさらに真ん中にあるのが日本でも質の高い烏龍茶として名高い「凍頂烏龍茶」の故郷「溪頭」。もちろん内陸部のさらに内陸部なので、木がうっそうと茂る山の中だ。このあたりを歩いていると森の匂い、木の匂いが爽やかに匂ってくる。雨上がりの日には、新鮮な水の匂いと森の香りが、都会で暮らす私達の五感に心地良く響く。

この山の真ん中、海拔1千メートルの地に忽然と現れるリゾートが「LE MIDI



プールに面して自然条件を生かした滝が心をなごませる HOTEL」だ。夏でも涼しい環境は、台湾の軽井沢をイメージさせる。このホテルは欧州の宮廷をイメージした装飾で内外が装飾され、豪華な結婚式も行えるだけで

く、ホスピタリティも十分。日本から来た観光客でも十分に満足できるホテルだ。朝夕にレストランで出される食事にも現地の名物なども混じり、満足した食事もできる。

このホテルの近くには森林を切り開いて作った「溪頭森林遊楽区」があり、森の中の散策を存分に楽しめる。ここは台湾で最初に作られた整備された森林遊歩道がある。地上22mの高さに作られた空中遊歩道は、森林のまさに真っ只中を浮いている感覚がある。また、ホテルの屋上にあるペントハウスは複数の区画に区切られた家族向け、カップル向けの個室パルルームになっている。パルルームは、浴槽も区画も気持ちの良い大きさに区切られ、広く隣の区画と区切られた屋外のベランダもあるため、森林の爽やかな香りを全身に浴びながらの入浴もできる。森林という環境条件をフルに楽しむリゾート。「LE MIDI HOTEL」の楽しさはそれに尽きる。

LE MIDI HOTEL ホームページ: <http://www.lמידי-hotel.com.tw/midi/index.html>

## 日台ITビジネスアライアンス交流会

10月27日、東京・新宿の京王プラザホテルで、2010年日台ITビジネスアライアンス交流会が開かれた。台湾からは中華民国情報産業協会の劉瑞隆理事長を団長とした「日本商機交流訪問団」が訪れた。交流会に先立って行われた挨拶では、台北駐日経済文化代表処の余吉政経済組長が立った。余組長は「ECFAの良い影響が台湾を豊かにした。今後は日本の情報サービス産業との「協業」でいかに大きなものにしていくかが課題」と語った。日本からは(社)情報サービス産業協会(JISA)の杉山壽典副会長が挨拶した。交流会のプログラムの最初のセミナーでは、兩岸で結ばれた「制限つき FTA」である ECFA とその影響によって、台湾と中国がこれからどんな経済関係を築いてい



くのか、などが語られた。特に情報サービス産業では、これまで認められなかった台湾企業の大陸でのサービス展開などが認められることや、知財関連の条約も結ばれ、大陸で展開されるソフトウェアなどの「知財」が保護の対象となることなどが語られた。



# 日本の各地で開催!

## 【福岡】 台北駐福岡経済文化弁事処 會念祖処長



## 【神戸】中華民国留日神戸華僑總會

10月6日、神戸・三宮の「第一楼」で、中華民国建国99年を祝う、中華民国留日神戸華僑總會主催のパーティが開かれ、約140名の在神戸の台湾人、そして日本人の友人が建国99年を祝った。



## 【京都】中華民国(台湾)留日京都華僑總會

10月7日、京都の「からすま京都ホテル」で、中華民国(台湾)留日京都華僑總會主催の、「中華民国(台湾)99年双十国慶節祝賀会」が開かれ、約300人の台湾華僑同胞、そして京都府議会議員の方々、台湾からの留学生の方々、そして日本の友人たちがあつまり、盛大な会となった。



## 【名古屋】留日名古屋華僑總會



沖繩

福岡

神戸

京都

名古屋

大阪

山梨

東京

横濱

## 【沖繩】琉球華僑總會

10月3日、雙十国慶節祝賀レセプションが那覇市内のハーバービューホテルで開催。  
地元沖繩の政財界、文化、学術界、台湾からの留学生、沖繩県内外の華僑団体、合わせて約7百名がこのパーティに集まり、中華民国の国慶節を祝った。



## 【大阪】中華民国留日大阪中華總會

2010年10月5日、大阪・なんばの「スイスホテル南海大阪」で、中華民国留日大阪中華總會主催の、第99回、国慶節のパーティが行われ、留日の台湾人のほか、多くの台湾人の友人の日本人も招かれ、約400人の参加者となる盛大な会となった。



## 【山梨】山梨台湾總會

2010年10月22日、山梨台湾總會主催の雙十国慶パーティが、山梨県・石和温泉の春日居ビューホテルで開かれた。



## 【大阪】 台北駐日経済文化代表処駐大阪弁事処

2010年10月8日、大阪のウエスティンホテル大阪で、台北駐日経済文化代表処・大阪分処主催の「慶祝 中華民国(台湾)九十九年国慶酒会」が開かれ、約600名の台湾華僑同胞、そして、日本人の友人たちが集まり、中華民国の建国九十九周年を祝った。



## 【大阪】雙十国慶節訪台団

大阪中華總會は10月8日から3日間、民国99年雙十国慶節を祝うため訪台団を作り台北を訪問し、台北アリーナで開かれた「四海同心」イベントに参加。翌日には恒例の總統府前での国慶節祝賀式典に参加した。一行はその後、馬英九總統も訪れたというレストランでの会食をはじめとして、台湾の自然を満喫する旅行を楽しんだ。





# 中華民国99年雙十国慶祝賀会

## 【札幌】台北駐日經濟文化代表処・札幌分処

2010年10月8日、札幌グランドホテルで台北駐日經濟文化代表処・札幌分処主催の中華民國九十九年雙十国慶祝賀会が行われ、札幌で台湾と深いかかわりのある日本の政財界人他と台湾人約250名が参加し、盛大な会となった。



札幌

## 【東京】東京崇正公会

東京崇正公会主催の、九十九年國慶記念イベントが、昭和記念公園で行われ、台北駐日經濟文化代表処の趙雲華僑務組長らも訪れ、盛大な会となった。



## 【東京】台北駐日經濟文化代表処

10月7日、台北駐日經濟文化代表処主催の中華民國99年雙十国慶祝賀会パーティーが、ホテルオークラで開かれ、元首相の森喜朗氏はじめ、1600人が出席する、盛大な会となった。



## 【東京】台湾同郷会 雙十国慶バーベキュー大会

来年の「中華民國百周年」を祝うため、在日華僑団体の1つ、「留日台湾同郷会」が東京・台場の潮風公園で約120名の台湾と日本の友人を集めてバーベキュー大会を行った。



## 【東京】東京中華学校

10月3日、東京中華学校にて、東京の雙十節國慶節が行われた。台北駐日經濟文化代表処から羅坤熾副代表が、そして日本からは参議院議員の大江康弘氏らも挨拶に訪れ、盛大な会となった。



千葉

## 【横浜】横浜中華学院・雙十国慶

10月11日、毎年恒例の横浜中華学院の雙十節の運動会と式典が行われた。9日に行われる予定だったが雨天で延期となっていたものだ。11日は晴天となった。当日は多くの台湾同胞と日本の友人が訪れた。また、中華街の中にある学校のため、台湾料理の屋台も出て、多くの人がおいしい台湾料理に舌鼓を打った。



## 【横浜】横浜中華街雙十国慶パレード

2010年10月10日、横浜中華街で民国99年雙十国慶のパレードが盛大に行われた。



## 【横浜】中華民國留日横浜華僑總會

10月5日、中華民國留日横浜華僑總會の雙十国慶パーティーが、横浜中華街のローズホテルで行われ、台北駐日經濟文化代表処の僑務組長、趙雲華氏と秘書の文君妃氏、横浜の副市長である小松崎隆氏、神奈川県日華親善連合会長の参議院議員・田中和徳氏などが来賓として招かれ、盛大な会となった。



## 【千葉】千葉県中華總會

2010年10月11日、ホテルグリーンタワー千葉にて、千葉県中華總會主催の「中華民國99年雙十国慶」パーティーが行われ、千葉県中華總會メンバーはじめ県内外の在日台湾人同胞、そして日本の友人たち約120名の参加があった。





### 黄石城氏「権力無私」出版記念懇親会と日本彰化同郷会設立大会

2010年10月17日、東京のホテルメトロポリタンで、黄石城氏の著書「権力無私」の日本語出版記念講演会が行われ、約200名の関係者や来賓が訪れ、盛大な講演会となった。日本側からも、内閣府副大臣の東祥三氏をはじめ、多くの国会議員が訪れ、黄先生への祝辞を述べた。

本書は黄石城先生が彰化県知事などの長年の経験をもとに、台湾の政治と文化について、現場の経験を踏まえ縦横に語ったもので、台湾本国ですでに2万部以上を売り、ベストセラーとなっているという。日本では黄先生が著作権を日本郷祖会に提供し、日本語に翻訳して出版することになったとのこと。

翻訳を担当した栗本慎二氏は、中国の故事を引



き「大きなものの方が強いとは限らない。小さな猫が大きな犬の急所を突いて勝つこともある」と述べ、台湾もまた、大きなものに立ち向かう小さく強い、意志を持った存在であることを説いた。



また、祝辞を述べた民主党・衆議院議員で現任予算委員会の委員長で、日華議員連盟の副会長でもある中井治(なかいひろし)氏は、「言論・出版の自由は大切。黄先生の人生から多く学ばせていただきたい」「台湾の日本への友情は忘れない」と語った。

現在内閣府副大臣の東祥三氏は、孔子の話を引き、「孔子は、国には兵(生存)、食(経済)、民(信頼)が必要、と説いたが、最後に残るのは民(信頼)である」と語り、日台の信頼の絆もまた大切なものであることを語った。

講演者として登壇した黄石城先生は「政治家は無私で透明であることが必要」と、自らの著書の内容を紹介。「政治を生業とする者は、政治家でなければならない、政治屋であってはならない」と、説いた。また「権力を使うときは透明化すること」「政治家は問題を解決するためにいるのであって、問題を解釈してはならない」とも語った。

なお、黄先生が自ら語ったところによれば、黄先生は無党派を抜き、接待や交際には必要ない限り派手にしたことはない、という。そのため、他の知事からはいろいろと文句を言われたこともあったそうだ。本書には含蓄深い哲学があることが、黄石城先生のお言葉からも伺えた。先生の考える政治の目的はただ「国家と国民のため」なのだ。講演会の最中も、多くの国会議員の方々をはじめ多くの来賓の方々が入り、講演会そのものも、非常に賑やかなものとなった。

講演会終了後、同ホテルの別室で、彰化県同郷会日本支部の設立総会を兼ねた祝宴が開かれ、多くの講演参加者が酒食をともにし、盛大な会となった。

### 東京-台北日帰り無料航空券抽選会

2010年10月18日、中華航空東京事務所において、東京羽田-台北松山定期便の就航を記念して、東京-台北日帰り航空券が当たる「パッとシュッと日帰りトリップ」キャンペーンの抽選会が行われた。抽選をしたのは、チャイナエアライン東京支社長の高橋氏(写真右)と、台湾観光局東京事務所長の黄怡平氏(写真中央)、そして台北駐日経済文化代表処の広報部長・朱文清氏(写真左)。



抽選は台湾系のマスコミ取材陣の見守る中、厳正に行われ、合計30名の無料往復航空券の当選者が決定した。また、この抽選では「松山さん」「羽田さん」に優先枠を設けており、特に「羽田さん」は、読みが「はねだ」の人だけを選んだためか、該当者が非常に少なく、申し込みをした「羽田さん」全員が当選(全8名。ただしうち2名はキャンセルがあったときの予備当選)、ということになった。今回申し込まなかった「羽田(はねだ)」さんは、ちょっと損をしたのかも知れない。

### 「台湾医療発展と国際交流」講演会

10月24日、東京・半蔵門の「ホテルモンテ半蔵門」で「台湾医療発展と国際交流」の講演会が開催された。講師は元立法委員、高雄市長衛生局長で現在台湾羅東聖母医院院長である陳永興氏。



た。その中で、氏は台湾はアフリカ、中南米および戦災、天災が起きた所へもっと積極的に参加、貢献したほうがよい、と語る。

日本の西洋医学は1850～1860年ごろ、オランダ人医師シーボルトから始まった。台湾も日本に似た歴史がある。1842年清の時代に結んだ南京条約と天津条約によって台湾の淡水と高雄は貿易港として開港した。やがて、1865年Dr. James Maxwell (英) 1866年Dr. Patrick Manson (英)、1872年Mackay (加) 等が台湾に来て近代西洋医学の扉を開けた。

複雑な世界局面の中で、台湾特有の問題などをいかに悪化させないようにするか、など、氏ならではの知恵が詰まった講演会だった。講演後には、多くの質問が出た。

医学界、保険、選挙、外交など台湾が抱える様々な問題について、明快で的確な氏の回答があった。その後、前理事の元山逸功氏の乾杯のご発声から懇親会が始まった。

系統的な台湾での医学教育は日本の植民地時代の民政長官、後藤新平氏が1897年に後の台湾大学医学部の前身を作ったことから始まった。最近では台湾も先進国並みの医療水準になり、そろそろ世界に「恩返し」しても良いのではないかと、氏は続け、話題は医療国際交流に移った。

### 大田市場花き事業共同組合 日本華商総会が台北花博ツアーを開催

2010年11月6日より台湾の首都・台北で開催される「台北花博」。この花博の初日にあわせ、大田市場花き事業共同組合と日本華商総会が主催する日本からの「花博ツアー」が開催される。本ツアーは日本華商総会の理事長、林錦漫氏を筆頭として、副理事長の朱基亮氏など華商総会の理事が参加するだけでなく、予定では現在内閣で経済財政担当大臣を務める海江田万里氏、東京都議会議員の山口拓氏、鈴木章浩氏、大塚たかあき氏(以上予

定)なども加わり、3日間の予定で行われる。空路は10月31日に就航予定の「東京・羽田-台北・松山」便が使われる。

初日は台北市役所、台北の僑務委員会、重慶同郷協会などを訪問(予定)、2日目は台北花博見学を行い、3日目には故宮博物院、忠烈祠、總統府、中正記念堂などをまわる(予定)、というスケジュールだ。花を生業とする業者の組合の「花博ツアー」。どのような成果があるのか楽しみだ。

### 第32回 台湾学生訪日研修団歓迎夕食会

2010年10月22日、東京・六本木の四川飯店で、第32回 台湾学生訪日研修団歓迎夕食会が開かれ、訪日団の学生たちと在京の華僑同胞が集まり、盛大な会となった。



この訪日団は毎年、日本航空が台湾の学生に日本を知ってもらおうと毎年編成しているもので、在日の華僑団体がこの催しの共催をしている。今回は日本中華連合總會、中華民國留日東京華僑總會、日本華商總會、東京中華学校校友会、横浜梅桜ライオンズクラブ、横浜台湾同郷会、東京同郷会が共催として名を連ね、訪日団学生を歓迎した。

この晩餐会のまとめ役として、最初に挨拶に立った中華民國留日東京華僑總會の朱会長は、今後もこの試みが長く続くことを願っている、と話した。

今回は日本の伝統芸の一つである(日本の)獅子舞(日本では本来、毎年正月にしか披露されない)も披露され、日本の文化を知るよい機会ともなった。

この晩餐会のまとめ役として、最初に挨拶に立った中華民國留日東京華僑總會の朱会長は、今後もこの試みが長く続くことを願っている、と話した。

### ヤマハ・IJOで 呉芊穎(Wu,Chien-Ying)さんが作曲・演奏

2010年10月21日、東京・渋谷のオーチャードホールで開かれたインターナショナルジュニアオリジナルコンサート(International Junior Original Concert)で、今年8歳になる呉芊穎(Wu,Chien-Ying)ちゃんが作曲した「彩虹列車」を呉ちゃん自身と、顔廷熹(Yen,Wen Hsi)ちゃん(9歳)が、連弾のピアノで披露した。二人とも台湾の出身。ヤマハ音楽振興会が主催する「ジュニアオリジナルコンサート(IJO)」は、15歳以下のヤマハ音楽教室に通う子供たちを対象に行われているコンサートだ。特に「インターナショナル」の冠がつくIJOは今年で39回め。世界各地で行われるIJOで演奏された選りすぐりのオリジナルの楽曲を、子供たち自身で演奏する。プロも一目置くその音楽の質の高さ、演奏の質には定評があり、毎年この時期に世界中からIJOの優秀者を集めて発表会が行われる。



右が作曲・演奏をした呉芊穎(Wu,Chien-Ying)ちゃん(8歳)。左が連弾で一緒に弾いた顔廷熹(Yen,Wen Hsi)ちゃん(9歳)。カメラを前に二人ともテレまわっていた。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

演奏が終わったあと、楽屋で二人におはなしを聞いた。二人とも照れまわっていたが、好きなアニメは？と聞くと「ドラえもん」という答えがかえってきた。また、二人ともにご両親がピアノを弾くとのこと、毎日練習は欠かさないとのこと。

### 圓山大飯店・蔣祖雄総経りに聞く「圓山大飯店」と日本人

現在、圓山大飯店の総経理は蔣祖雄氏。インタビューに応じてくれた蔣氏は、これまで台北の一流ホテル、シェラトンホテルを経て、この圓山大飯店の総経理となった。長く台北の一流ホテルを経営してきた経験から、台北のホテル利用のお客様のほぼ半分が日本人だった、ということも語った。また、日本は台湾と非常に近く、かつ信頼できるビジネスパートナーであると感じているとのこと、観光のみならずビジネスの面でも、日本人客に対していかにサービスできるかが、台北のホテルの重要な課題である、という。



蔣祖雄総経理

そのため、特に日本人向けのサービスや食事など、多方面に気を配っている。今年8月には、同ホテルの従業員のコスチュームを日本人デザイナーに委託。ホテルレストランの食事、日本人の好みに合わせたメニューを多く揃えている。隠れた面でも日本人をたいへんに意識している、ということが伺える。また、日本からのお客様の場合は、これまでの蔣総経理の経験から、朝食を大事にする、とのこと。そのため、ホテルのレストランで日本人が朝

食をとり、ときには、必ず窓際の気持ちの良い席を用意するように、と指示しているとのことだ。まさに「日本人客にこだわりのある」のホテルが、この圓山大飯店と言える。

また、最近では圓山大飯店にも、中国人客は非常に多いが、5ツ星のホテル、特に当ホテルに泊まりに来る中国人客は総じてレベルが高く、問題などは発生していないとのこと。

今後は、内装をさらに充実、レストランも改装して使いやすくしていき、ゴルフ

ツアーとホテルとのパッケージ化などさまざまな施策を打っていくとのこと。

### 9月18日から一泊二日間の台湾の中秋懇親会旅行

日本欣華会の会員30名は白浜温泉旅行を行った。初日総会開催後、夕食をとり、部屋に於て二次会が始まり、深夜まで賑やかに歓談。翌日、千疊敷、三段壁と円月島等名所を訪れ和歌山の「とれとれ市」で新鮮な海鮮料理の昼食を食べた後、帰途に着いた。



### 100%海洋性コラーゲン 美鱈物語

特別抽出法利用。天然の魚鱗から抽出されたフィッシュコラーゲン、無汚染で安全。飲むフィッシュコラーゲン、無添加で安心。低分子量、消化吸収がしやすい。高品質 45000mg 配合。



詳しくはホームページへ <http://scaletalk.jp> お問い合わせ 03-5812-4868 info@scaletalk.jp 有会社 興亜 東京都台東区上野 3-21-1 宮本ビル2F

### ★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分 嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第2-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥21,000(税別)	北京 ¥23,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥29,000(税別)
香港 ¥24,000(税別)	曼谷 ¥21,000(税別)	新加坡 ¥37,000(税別)

●代辦中國、東南亞旅遊簽證、簽證、港澳●日本國內觀光、温泉、滑雪旅行●世界各地便宜機票、酒店及團體旅行●來日團體的送機、送車、導遊●電腦訂位、迅速、確實

銀行通帳口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普)3678888(名義) 嘉南觀光(株)

營業時間：週一～五 9:30～18:30 週六 9:30～13:00 TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989 地址：〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

### 為華僑青年男女搭起友誼的橋梁

### 僑民結婚相談所を開設しました。

どうぞお気軽にご相談ください (秘密厳守) 安心、安全

主催者：大阪中華總會 婚姻コンサルタント：許彩銀(元大阪辦事處勤務36年)

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋 1-8-22 中正ビル423 TEL:06-4963-3667

### 代表処人事 副代表に陳調和氏 僑務組組長に趙雲華氏

台北駐日経済文化代表処の副代表に、陳調和氏が赴任。また、僑務組組長に趙雲華氏が赴任した。



副代表陳調和氏



僑務組組長趙雲華氏



台湾で活躍する日本人テレビ司会者-MATSU

## 離島への交通手段

緑島や蘭嶼島へは台東からプロペラ機。手を伸ばせば機体のてっぺんまで届きそうに小さい。20人弱の収容人数。前方に座れば操縦席が丸見え。車を運転するように(っていうほど単純ではないが)、飛行機が地上を離れるまでのパイロットの所作一つ一つを見ることができ、「大人の社会見学」といった雰囲気だ。方向を変えるために機体が傾けば、我々乗客の体も横につられて傾く。空を飛ぶことの原点に近づける乗り物だ。東港から小琉球、馬祖の北竿から南竿の

## MATSU プロフィール MATSU (阿松)

台湾で活躍する日本人テレビ司会者。台湾のテレビ局で放送のグルメ番組「大口吃遍台湾」のMCを務める。これまで本島の東西南北/金門/馬祖/蘭嶼/綠島/小琉球等を食べ歩き、番組内で「台湾の食の風景」を伝える。同シリーズはアメリカ、カナダ、中国、日本など世界で幅広く撮影を行い、その映像を台湾の視聴者に届けている。

往復はフェリー。数十分という短い時間ではあったが、どちらも悪天候、船酔いに苦しんだ。波が高く、特に小型の船は揺れる



る。高い揺れは一瞬、まるでジェットコースターのように宙に浮き、ドンと座席に落ちるような感じになる。飛行機でも気流の悪いところを通過すれば同じように浮くが、小型フェリーの揺れはなかなか止まらない。揺れるたび乗客は「キャー」と悲鳴のような声を上げ、まずまずの恐怖感と気持ちの悪さを煽る。到着した頃には体が凝っていた(緊張していたため)。

台湾を憶う日本人(7)

## 「竹爺」・竹市敬二さん

林雅行(映画監督)

関西で日本と台湾の友好のシンボリック存在の竹市敬二さんは、「竹爺」の愛称で親しまれている。竹市さんがひいきする京都三条にある珈琲店で会った。現在85歳。1926(大正15)年6月に台湾の基隆で生まれた。父は税関で働いていた。1930年、霧社事件が起こる。「基隆に高砂族(当時、原住民をこう呼んだ)が攻めてくると思った」。基隆時代の楽しみといえば、夏の海水浴。当時、台湾の人には海水浴の習慣はなかった。僕は夏休み中は家の中では素裸だった。丸出し(笑)。小学校は台北市へ。戦争末期は海軍軍務についた。終戦で引揚げの時話。「日本では砂糖がないから羊羹1本で1週間旅館に泊まると聞いたので、リュックに30本詰め込んでいったが、ダメだったな。1人1000円しか持って帰ることができないのでそれ以外の金を服に縫い込んだ。基隆港の岸壁には、没収されるからと引揚者が捨てたお札がいっぱいプカプカ浮いていた。ザルを持っていけば良かったな(笑)。「陸軍の将校が、首に靴ぶら下げて歩いている。何でと思った。靴に金の紙が打ち込んであった。驚いたね(笑)」。話題が豊富で饒舌だ。話も面白い。よく笑う。熊本に引揚げさせた。泊まっていた旅館の前に闇市があった。そこで進駐軍の友だちができた。部隊に遊びに来いと言われて出かけていくうち、そこに入りしていた熊本県の職員と知り合いになった。それが縁で熊本県に勤めることに



なり、40年近く県庁勤め。土木部で災害復旧に携わった。1953年6月26日、九州全域で水害があり、熊本市では1時間で400ミリの雨が降った。死者・行方不明者だけで500人を超えた。「水の中を歩いていると、足に何かが引っかかった。女性の手で水死体だった」。洪水で畑の菓が壊れて人を咬んだ。熊本県庁時代は台湾のことを忘れていた竹市さん。「20年くらい前、新宿で偶然台湾時代の同級生に遭ったの。何している?とときいたら、「台湾の独立を応援している。だから中国の特務に狙われとる」と言う。じゃあわしがお前を守ってやろうと」。竹市さんの関心は台湾に向かった。現在は台湾研究フォーラム関西の代表を務めている。毎年、台湾に出かけていく。

1987年に熊本から滋賀県大津に来た。息子が大津で自営業を営んでいたからだった。「初めは関西など来たくなかった。けど、来てよかった。京都など若い女性が多いし、綺麗だし(笑)」。小柄だが背筋もまっすぐ、足腰もしっかりしている竹市さん。京都から大津の自宅まで14キロ

歩いて帰ったこともある。「夜、飲んでいて終電がなくなった(笑)」。ビールと赤ワインが好きだという。「朝は何を?」「バナナ2本、ヨーグルト、納豆2〜3個」「昼は?」「これ」と言ってビールのジョッキを差し出した。そう、竹市さんへの取材は珈琲店からピアホールに移っていたのです。早くに妻を亡くした竹市さんだが、「老いることなく何にもおもんなく、自由に日々過ごしているようだ。うらやましい限りである。そして何よりも笑顔が素晴らしい。

## 「苦瓜」

台湾を代表する野菜と言われて私がまず思い浮かべるのは、クークアこと苦瓜です。じつは台北に住むまで聞いたことも見たことも、もちろん口にしたこともありませんでした。もともと南国(インド)原産の野菜とあって、日本ではゴーヤーと呼ばれて昔から親しまれてきた沖縄ぐらいでしかお目にかかることはできなかったのです。それほど日本人にとっては知られざる野菜のひとつだったのですが、いまや日本全国で大ブーム。ここ数年は品種(栽培)改良のおかげなのか、もしくは本州が熱帯化しているせいか、オールシーズンで私たちの食卓の上をにぎわす食材のひとつとしてすっかり定着してきたようです。ちょうど本州の真ん中に位置する街にある我が家のベランダにも10月末というのに今夏3回目の収穫を迎えてまるまるふとった苦瓜がたわわになっています。

[シリーズ第2回]

## 日本の台湾関連企業

### ■「花」でつながる日本と台湾 - フラワーオークションジャパン

2010年11月6日。台北で「台北・花の博覧会」、「台北花博」が開幕する。世界中から多くの観光客が台北に訪れることが予想されており、現在台北では最後の調整の段階に入って、内外からの観光客をもてなす準備を大わらわで行っている最中だ。この台北花博の開幕式典に、日本からも多くの政府要人や台湾と深い関係のある企業人、業界団体が訪れる予定だ。今回は特に「花博」の名前にふさわしいということで、日本の団体「東京都大田市場花き(花卉)事業協同組合」とその関連の人々が中華民国政府の招待を受け、11月5日の前夜祭、11月6日の開会式典に出席することとなった。また、同時に、洋蘭、トルコ桔梗などの花でおなじみな、日本と花では深い関係にある台湾人の在日団体である東京華僑総会、東京華僑総会の重鎮も同時にこの式典に参加することとなった。日本からは、東京都大田市場花き(花卉)事業協同組合の理事長であり、東京華僑総会の会長でもある朱栢亮氏を筆頭に、東京都議会議員の山口拓氏(民主党)、鈴



木章浩氏(自民党)、大塚たかあき氏(民主党)、東京都花き振興協議会会長・東京都葛西市場花き事業協同組合の理事長の三島勝治氏、(社)日本花き卸売市場協会・(株)フラワーオークションジャパン(FAJ)代表取締役会長の宮本至朗氏、大田市場花き事業協同組合(株)ビューティー花壇代表取締役の三島美佐夫氏が招待を受けた。また、日本華商総会の理事長である林錦漢氏はじめ、華商総会、華僑総会からは10名が参加する。また、大田市場花き協同組合の顧問となっている海江田万里氏と蓮舫氏は、公務のため訪台できず、両氏とも花博へのメッセージを今回の訪問団に託している。前置きが長くなったが、これらの中心となる「花」の市場の、特に大田区の市場で中心的存在の1つとして花き市場を仕切っているのが「FAJ - フラワーオークションジャパン」だ。FAJは年間数万種の生花を扱い、300億円近い取引を大田市場で行っている。今回の花博訪問団の民間の筆頭であるFAJの宮本至朗氏は、台湾と日本は「花」では大変に深い関係にあるという。たとえば、洋蘭は亜熱帯である台湾のほうがよく育つ。そのため、洋蘭は日本で種を台湾に送り、台湾で発芽させ、増やし、大きくなったものはまた日本に持ってきてそこで商品として売られる、という。また、日本では花にも工業製品のような「規格」があり、輸入はその規格にあつたものでないといけないことがある。そのため、台湾から日本に送る花は、日本からその規格にあわせるための技術指導が必須になるため、台湾での花作りにも、日本からの技術が多く入っているとのこと。台湾から入ってきて、大田市場でFAJが取引する花は、たとえば洋蘭、トルコ桔梗の他に、近い種類のオンシジウム、アンシジウムなどもあり、FAJとしても「台湾の花」は欠かせない存在とのこと。台湾と日本の「花」をFAJが結びつけている。台湾の花に、日本も期待している。

## もっ! 知りたい台湾文化 <プライベート>

「何故あんな事まで聞いてくるの?」台湾で生活をする日本人がよく口にしている不満の一つです。台湾の方は皆さん本当に親切です。見知らぬ人に対しても「何か困った事はない?」と心配してくれる程、情に厚いです。しかしながら残念なことにプライベートを重視する日本人から見ると、時にそれが目に余ってしまう事もあるようです。最近の若い台湾人はプライベートを重視する傾向が強く、あまり立ち入った事を人に訊ねたりしません。しかし、お喋りが大好きな中年以上の台湾人女性は初対面であっても時に様々な事を聞いてきます。「あなたは何歳?」「結婚しているの?」「恋人はいるの?」そのような質問は極当たり前、中には「家族の職業は?」「あなたや恋人の年収はいくら位?」「一か月の家賃はいくら?」「今、体重はどれ位?」など、日本なら初対面の人には決して聞かないような事まで質問をします。

そんな問いに慣れない日本人は「何故そんな事まで聞くの?」と、腹を立ててしまふ事が少なくありません。正直に言うとも慣れるまでは同様です。でもここで誤解しないで欲しいのは、決して悪気があって質問をしているのではないと言うことです。むしろそれは「あなたと仲良くなりた

## 日本・台湾教育事情 「国際交流」

先日興味深い記事を目にしました。「最近の日本人若年層には海外離れの傾向が見受けられる」と言う内容です。「海外赴任を命じられた場合には断りたいと考えている」「海外旅行より近くの温泉旅行」という思考傾向にあるようです。後者は不景気だから・・・という理由もあると思うのですが、前者の答えを見る限り必ずしも金銭的な理由だけではないよ

うです。国際競争力が求められる現代社会で「よりドメスティックな思考になる傾向」は懸念すべき事のようにも思えます。しかし、そんな日本の事情とは裏腹に台湾では海外に憧れる人は大変多いです。海外旅行や留学は勿論の事、語学学習に対する意欲は日本人の比でないように思えます。テレビで多くの海外番組を放送しているが故に海外文化に興味を持つ人が多い事や、また過去の歴史的背景もその理由として考えられるかもしれません。そのせいか台湾では海外の人に対して交流意欲がとても強いように思えます。

テレビで多くの海外番組を放送しているが故に海外文化に興味を持つ人が多い事や、また過去の歴史的背景もその理由として考えられるかもしれません。そのせいか台湾では海外の人に対して交流意欲がとても強いように思えます。

言語を学ぶ事が出来るだけでなく、こういった交流を通じて友好関係も深めていきたいと考えているようです。勿論、授業料を支払って語学スクールに通う人も大変多いです。こんな事が背景にあるせいでしょうか。街中や学校内で「あなたは日本人ですか?もしよかったら一緒に言語交換をしませんか?」と声をかけられた事が私自身何度もありますし、大学の掲示板はいつも言語交換希望の貼り紙でいっぱいです。海外交流に積極的な台湾人と、海外への憧れが希薄になる日本人若年層。これからの国際社会で、どちらがより「グローバルな目」を持つ事が出来るのか・・・これも重要な課題の一つであるように思えてなりません。

## 留學生 身影 東京造型大学

東京造型大学でインテリアの勉強をしている王韻涵さんは来日して約1年半以上経つ。学問を更に追究しようと海外留学を決めた当初は、イギリスか日本か二つの選択肢を考えたそうである。最終的に日本に決めたのは、煉瓦の多いイギリスの建築に対して、日本の防震対策、収納などの知識のほうが台湾の建設環境に生かし易いとのこと。現在は東京造型大学において、「照明・空間」を専攻している。そのきっかけは大学時代、アニメを専攻したからだという。

## 王韻涵 さん

ゲームをするとき、各場面の室内インテリアを変更することにより、雰囲気やがらりと変えることができたことに気づいたからという。そもそも王韻涵さんがデザインに興味を持ち始めたのは、高校の時、学校の美術コンテストに多数参加し、優勝したことがあったからだ。彼女は中学生の頃から毎年クリスマスのたびに、親友のためにカードを作り、その親友は彼女の手作りクリスマスカードを10枚も持っている。彼女は自慢げに語った。次第に自分がデザインに興味を持っていることが徐々に分かっ



てきた。彼女は一度国立大学の建築学科に進学したものの、複雑な建築計算には向かないと感じ、その後転学をし、「アニメ」を専攻した。多くの若者と同じく、将来は何をしたいのかを模索しながら、自分の好きな道に少しずつ辿りついていく王さんの姿を見ることができた。現在の夢は学校を卒業し、日本でキャリアを積み、いずれ台湾へ帰る自分のデザインを実現することだとのこと。がんばって!

## 日本語練習帳 「からだ」

「からだ」ということばはどういうふう日本人のなかから生まれてきたのでしょうか。「からだ」は「から」と接尾語の「だ」から成り立ってできたことばです。では「から」とは何なのでしょう。思いつくと「から」という漢字を書き出してみると、「空」「般」などが思い浮かびました。「空」はからっぽの「から」、「般」は羽般(もみがら)や貝般(かいがら)など大切なものを守りお守りしている「から」、「骸」は亡骸(なきがら)のように死んだ「から」。これらの「から」にはよくみるとある共通点があります。なにかを包んだりお守りしている役割を果たしているものが「から」ということばです。では、その「なにか」がなにかが問題になってきます。個人的にはなにもない空間を意味しているのだと思いますが、この詳細については生涯を「からだ」の研究に捧げた野口三千三氏の名著「原初体生命としての人間」に鋭く論じられているので、

少し長いですが引用してみましょう。「から」は、空、虚、洞、殻・・・でもある。それは懐かしく安らかな安眠の場であると同時に、或る神秘的・呪術的な働きによって、はかり知れないあやしい何事かが起こることを予感させる「内部空間」をもつことがその本質であろう。胴(から)こそからだの原初存在であって、顔・手・足というものは、もともといつもそこにあるべきものではなく、必要な時だけ新しく胴体の置くの中身がそこに伸びて行って、必要な仕事をし、それがすんだら捨てられ消え去るか、胴の中に戻るかするものなのだ。こうしてみると、「からだ」というのは木でたとえるところの幹の部分に相当するものだといいのかもしれませんが、もしくはその内部空間から大切なものを生み出し育てるための「うづわ(器)」と考えてもいいでしょう。日本人は古来このように「からだ」というものをとらえて生きてきたのです。

上田智美(作家)



# 日本

## 羽田空港

# 直行便

# 台湾

## 松山空港



台湾観光イメージキャラクター フェイロンハイ(飛輪海)

### ■ 羽田-台北線10月31日より開通!

羽田から台北中心部にある松山空港までの直行便が就航!  
台湾への距離がぐっと近くなりパワーアップ! 気軽に旅立てるようになりました。  
東京と台北2都市を結ぶ新しいルート是非ご利用ください!



往路	羽田	台北(松山)着	復路	台北(松山)発	羽田
CI 223	07:00	→ 09:45	BR 192	07:30	→ 11:15
JL 031	08:10	→ 11:15	CI 220	09:15	→ 12:55
NH 1185	09:40	→ 12:45	JL 030	10:00	→ 13:45
BR 189	10:45	→ 13:30	NH 1186	13:45	→ 17:40
BR 191	12:15	→ 15:00	JL 032	15:15	→ 19:00
NH 1187	12:40	→ 15:45	BR 190	16:00	→ 19:50
CI 221	14:15	→ 17:15	NH 1188	16:45	→ 20:40
JL 039	17:55	→ 21:00	CI 222	18:15	→ 21:55

※その他、成田、名古屋、大阪(関空)、福岡、札幌、沖縄、広島、小松、宮崎から台湾各地への定期便が現在就航中です。詳細は各航空会社のホームページでご確認ください。

### ■ 台北花博開幕!

開催期間:2010年11月6日-2011年4月25日

### ■ 2010特色夜市選抜イベント

台湾観光と言えば、夜市で絶品の小吃(シャオツウ)の食べ歩き。台湾夜市では他にも沢山の美味しいもの、楽しいことがあります!台湾夜市の魅力により広く知っていただくため、台湾観光局では「2010台湾夜市選抜イベント」を開催。ネット投票で十大夜市が選ばれました。台湾を訪れたら「十大夜市」に行ってみよう!

詳しくはイベントホームページ <http://www.2010night.com/> にて!

### ■ 2011台湾ランタンフェスティバル

開催場所:苗栗竹南頭份運動公園  
開催期間:2011年2月17日-2月28日



台湾観光局  
<http://jp.taiwan.net.tw>

台湾観光協会  
東京事務所 TEL 03-3501-3591・FAX 03-3501-3586

大阪事務所 TEL 06-6316-7491・FAX 06-6316-7398